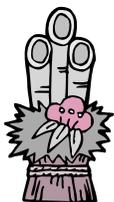




新年賀詞交歓会



1月5日、西部総合公園体育館（工業団地）において、約500人が出席して、新年賀詞交歓会が開催されました。

この席上、平成16年中、善意銀行や奨学基金、芸術文化振興等に20万円（相当）以上の寄付をされた方々に、矢数市長から感謝状が贈られました。

また、アトラクションとして、大宮公民館の津軽三味線講座講師、上松満さんとその生徒さんによる三味線の演奏・唄が披露され、新年の雰囲気盛り上げました。

統計大会で表彰

12月22日、県民文化センターでの「第46回茨城県統計大会」において、統計功労者の表彰などが行われ、当市からも10人の方が表彰などを受けました。

●経済産業大臣表彰

益子朝雄さん（盛金）

●経済産業省調査統計部長感謝状

篠田 潤さん（下町）

鳥喰 昌さん（野上）

坪 進さん（野口）

●茨城県知事表彰

中村 清さん（上岩瀬）

堀江邦男さん（北富田）

●茨城県統計協会総裁表彰

奥村清司さん（北町）

生田目強さん（石沢）

小口昭二さん（山方）

堀江昌一さん（鷲子）



統計大会に参加した受賞者の皆さん

下水道促進週間コンクールで 県知事賞受賞



1月20日、県庁において、茨城県下水道促進週間コンクールの表彰式があり、市立第一中学校3年の高安真理子さんが「作文の部」において、県知事賞を受賞しました。

このコンクールは、9月10日の「下水道の日」及び茨城県下水道促進週間の行事の一環として、下水道に対する理解を深め、その普及と十分な活用を図ることを目的に、県の主催により毎年実施されています。

高安さんの作品のタイトルは『水のために出来ること』。家庭からの生活排水も「水」として循環しており、生活排水をいかに汚れの少ない排水にすれば良いか、家庭でできる注意点などを書かれた作文です。

なお、県内からは作文、ポスター、書道、標語、新聞の部に30、743点の応募がありました。

県立大宮高等学校家庭クラブ 小麦粉研究で文部科学大臣賞

県立大宮高等学校の研究グループ（家庭クラブ7人・食物部6人）が、栄養改善普及会の主催により都内で1月15日に行われた、『第42回高校生による食生活改善研究活動「I & You 食生活」発表大会』に参加。「小麦粉『小麦』大進進粘つてつないで地域のわく」というテーマで文部科学大臣賞を受賞しました。

グループはこれまでテーマに沿って、小麦粉の市場調査、小麦狩りや日干しうどん作りなどにより、地元産小麦を使った調理に関する基本的な技術の習得や料理研究を行い、また幼児期からの食育の重要性から保育園を訪問し、パン作りなどを一緒に行ったり、ふれあい広場で地粉を材料としたうどんやパンを販売したりして、食と健康、地域農業の普及活動を行ってきました。

